NEW

Agilent 1200 シリーズ LC システム & モジュール

要覧

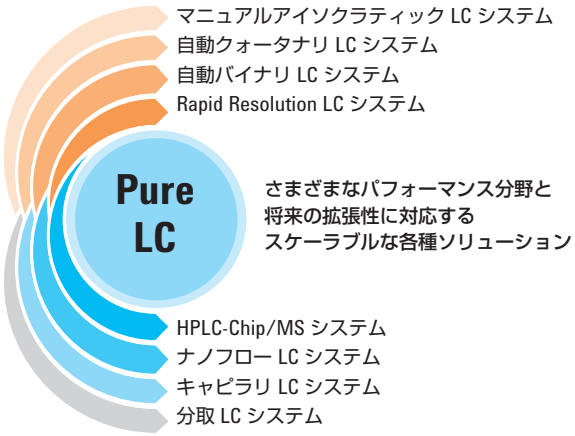
Agilent Technologies

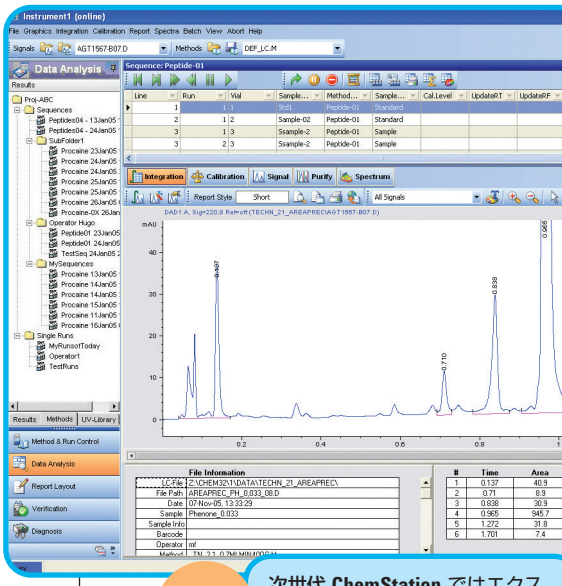
Agilent 1200 Series LC 新プラットフォーム
All the performance. All the time.

あなたの第一優先が、スピード、分離能、感度のいずれであれ、この新しい Agilent 1200 シリーズは、フレキシブルなモジュール構成のデザインにより、あなたのアプリケーションニーズに合わせて理想的なシステム構成を組むことができます。完全に統合された各種ソリューションにより、何も犠牲にしないで、データ品質の改善や高い生産性を達成できます。

Agilent 1200 シリーズのスケーラブルでオープンなアーキテクチャは、60,000 台を超える納入実績を持つ 1100 シリーズのプラットフォームをベースにしています。そのため、拡張性、適応性、信頼性が保証されており、将来への安全で確実な投資が可能です。

この Agilent 1200 シリーズは、次世代の HPLC を実現したもので、優れたパフォーマンスに加えて、堅牢性と信頼性が大幅に強化された設計となっています。





NEW

次世代 ChemStation ではエクスプローラにより分析データを容易にレビュー

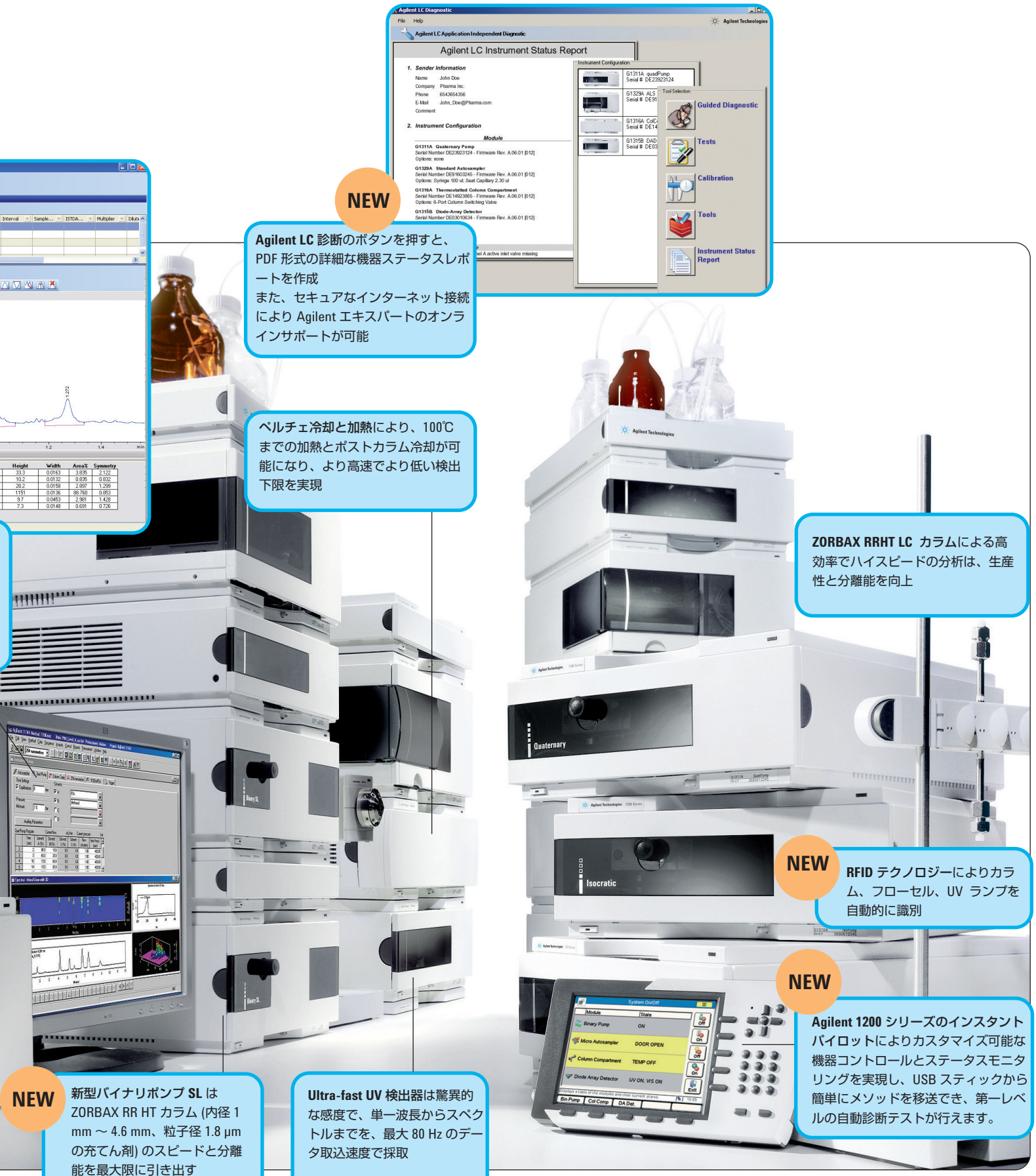
EZChrom Elite ワークステーションにより他社製の機器を統合してコントロール

さまざまなパフォーマンスの分野に多様でスケーラブルなソリューション

この 1200 シリーズでは、単一のプラットフォームで以下の特長を持つさまざまなLC ポートフォリオを利用できます。

- アプリケーションのニーズに応えて、高性能のポンプ、インジェクタ、カラムコンパートメント、検出器、フラクションコレクタを多数用意
- 組み込まれたシステムインテリジェンスにより、使い易さと最大の稼動時間を実現
- アップグレード可能な各種インフォマティクスソリューションにより、単独のクロマトグラフィーデータシステムから、完全に統合されたデータマネジメントシステムに拡張可能、さらに、ウォークアップ操作、ゲル濾過クロマトグラフィー、ハイスループット分取精製システムなどといったアプリケーション特化ソフトウェアも追加可能
- 広範な HPLC カラムのポートフォリオは、ナノスケールから分取スケールまでの様々な分離ソリューションに対応
- サポートサービス、コンプライアンスサービス、トレーニングサービスのグローバルネットワーク

詳細 URL: www.agilent.com/chem/jplc



NEW

Agilent LC 診断のボタンを押すと、PDF 形式の詳細な機器ステータスレポートを作成
また、セキュアなインターネット接続により Agilent エキスパートのオンラインサポートが可能

ペルチェ冷却と加熱により、100℃までの加熱とポストカラム冷却が可能になり、より高速でより低い検出下限を実現

ZORBAX RRHT LC カラムによる高効率でハイスピードの分析は、生産性と分離能を向上

NEW

RFID テクノロジーによりカラム、フローセル、UV ランプを自動的に識別

NEW

Agilent 1200 シリーズのインスタントパイロットによりカスタマイズ可能な機器コントロールとステータスモニタリングを実現し、USB スティックから簡単にメソッドを移送でき、第一レベルの自動診断テストが行えます。

NEW

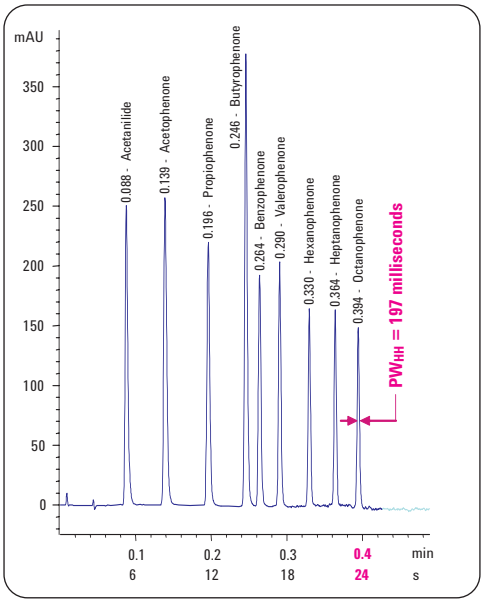
新型バイナリポンプ **SL** は ZORBAX RR HT カラム (内径 1 mm ～ 4.6 mm、粒子径 1.8 µm の充てん剤) のスピードと分離能を最大限に引き出す

Ultra-fast UV 検出器は驚異的な感度で、単一波長からスペクトルまでを、最大 80 Hz のデータ取込速度で採取

詳細 URL: **www.agilent.com/chem/jplc**

スピード、分離能、感度に新たな基準

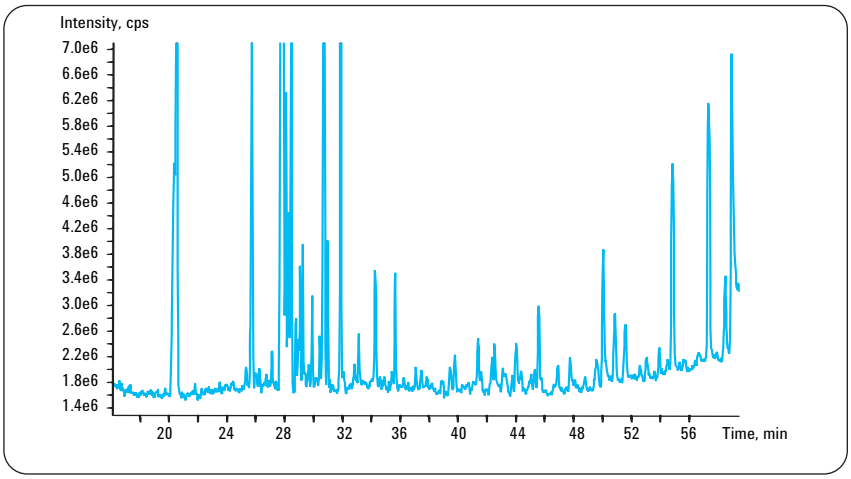
Agilent 1200 シリーズ Rapid Resolution システムによるフェノン類混合物の超高速分離



1200 シリーズの Rapid Resolution システムと TOF 検出による薬用人参抽出物の高分解クロマトグラフィー。平均ピーク幅は 0.13 min、ピークキャパシティは 540 です。

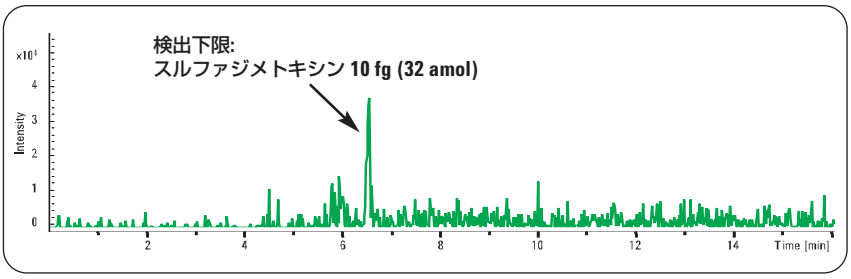
ピーク幅がミリ秒単位の液体クロマトグラフィー

粒子径が 2 µm 未満の充てん剤を採用した短いカラムを使用することで、分離性能を犠牲にすることなく流量を上げることができるため、分析時間が劇的に減少します。しかし、高耐圧システムであるというだけでは、このようなカラムの性能を最大限に引き出すことができません。つまり、システムボリューム、サイクルタイム、サンプリングレート、および温度コントロール機能が最適化され完全に統合されたソリューションシステムが必要です。



高分離能クロマトグラフィーでさらに多くの情報を

高いカラム効率と高分離能を得るには、粒子サイズを小さくするか、または分離カラムを長くするか、いずれかを選択することになります。粒子径 1.8 µmの充てん剤を採用した Agilent ZORBAX Rapid Resolution HT カラム (長さ 20～150 mm) の能力を最大限に引き出すAgilent 1200 シリーズRapid Resolution システムが、マトリックスの多い複雑なサンプルに対して新しい次元の情報提供を実現します。



HPLC-Chip/Iontrap XCT による血清サンプルの分析。311.1 → Σ(155.9, 217.9, 245.0) の EIC 、1 µL 注入

信頼性の高い高感度ナノスプレーを実現する HPLC-Chip/MS

HPLC-Chip/MS システムは操作性がよいだけでなく、カラム前後のデッドボリュームをすべてなくすことでナノフローでの分離能を大幅に向上し、限られたサンプル量での高感度ナノスプレー LC/MS に最適です。

Printed in Germany, February 1, 2006
Publication Number 5989-4698JAJP
Copyright © 2006 Agilent Technologies

All Rights Reserved.
著作権法で許されている場合を除き、
書面による事前の許可なく、
本資料を複製、翻案、翻訳することは禁じられています。
本製品は薬事法に基づいた登録を行っていません。

Agilent Technologies